

14 あなたの知らないテレビの世界

若者のテレビ離れが言われますが、果たして本当にそうなのでしょうか？ 放送局でのプロデューサー・ディレクターの経験を元に、皆さんにとって「目から鱗」のテレビのお話、そしてメディア全般のお話をしたいと思います。

講 師

影山 貴彦 教授

専 門 分 野

放送を中心としたメディア研究

現在の研究テーマ

メディアエンターテインメント

担 当 科 目

メディアエンターテインメント論、放送番組制作

出 講 可 能 日

金曜日

研究テーマの詳細



講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

15 新しい自分の世界を表現してみよう!—K-pop音楽のプロデュース方法の解説—

K-pop は世界的なポップ音楽に成長し、現在世界中の人々に楽しまれています。この講義では、最新メディア使った K-pop 音楽やダンスの具体的な作り方と グループのプロデュースの方法について解説していきます。将来、音楽制作やアーティストプロデュースを夢めている人は是非この授業を受講してみてください！

講 師

川田 隆雄 教授

専 門 分 野

プロデュース学、社会構成主義、教育学

現在の研究テーマ

プロデュース学、プロデュース能力研究の継続と社会構成主義型組織の研究、教育学

担 当 科 目

グローバルエンターテインメント論、プロデュース論

出 講 可 能 日

月・火曜日、ご相談に応じて

研究テーマの詳細



講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

スクリーンは大きなものが望ましい、大きな音が出せる部屋

16 メディアアートの探求

メディアアートとは、現代美術におけるジャンルのひとつであり、狭義にはコンピュータやセンサーなどの先端のメディア・テクノロジーを駆使した表現領域を指します。本講義では、このメディアアートをめぐって、これまでに試みられた多様な表現実験や、自身が実践してきた創作の軌跡を振り返りながら、ラディカルな問いを提起するアート＝現代美術としてのメディアアートの魅力と可能性について言及したいと考えます。

講 師

森 公一 特任教授

専 門 分 野

メディアアート、現代美術

現在の研究テーマ

メディアアート、現代美術

担 当 科 目

メディアアート論、映像表現論

出 講 可 能 日

木曜日

研究テーマの詳細



講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、
パワードスピーカー

17 マンガはなぜ面白いのか

マンガを楽しんでいる人は多いかと思いますが、趣味・娯楽のためだとか、軽い読み物だとか思われがちです。ですがマンガは表現形式が異なるユニークなメディアの1つなのです。そのことを、マンガのリテラシーの理解、出版・メディアミックス・電子コミックの観点からも分析することで、みなさんのイメージを変えてみたいと思います。

講 師

村木 美紀 准教授

専 門 分 野

図書館情報学

現在の研究テーマ

ヤングアダルトのメディアと読書

担 当 科 目

マンガ文化論 A、メディア創造基礎演習 B

出 講 可 能 日

金曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

18 Project Planning の実践

講座における産官学連携企画の実例から立案／実行／目標達成までの過程を検証し、社会的実践学習の可能性を考察する。

講 師

関口 英里 教授

専 門 分 野

消費文化論、プロジェクト型教育

現在の研究テーマ

都市メディアにおける文化の仕掛けを読み解く、
産官学連携の実践

担 当 科 目

都市メディア論、プロジェクトプランニング演習

出 講 可 能 日

月・土曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、
ネット接続環境、学生使用 PC

研究テーマの詳細



19 環境をデザインする

コンピューティングはパソコンやスマートフォンの中だけで利用できるものではもはやありません。情報技術によって身の回りの環境を賢くするにはどうすればいいか？ そのためにはどのような技術が必要になるか？ 本講義では将来の我々の身の回りの環境を ICT で拡張することについて考えます。

講 師

白井 良成 教授

専 門 分 野

ヒューマンコンピュータインタラクション、ユビキタスコンピューティング

現在の研究テーマ

WWW のゲーム化、履歴情報とのインタラクション

担 当 科 目

情報ネットワーク、WEB プログラミング

出 講 可 能 日

月曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

20 「使いやすさ」を考える

かつていいけれど、使いにくいモノ。おしゃれだけど難しいアプリ。若者には便利だけれど、お年寄りには使いにくい情報機器。機器が高機能化する今日、「使いやすさ」という点から見るとモノは複雑になりむしろ使いにくくなっているように思えます。使いやすさはデザインできるのか。シンプルで身近なモノから未来の機器までを題材に、皆で考えます。

講師
和氣 早苗 教授

専門分野
ユーザインタフェース、
情報デザイン

現在の研究テーマ
機器のユーザインタフェースに使われる音・音声の
デザイン

担当科目
ソフトウェア概論、ヒューマンインタフェース論

出講可能日
月・木曜日

研究テーマの詳細

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン



21 哲学で考える人工知能(AI)とメディア技術

人間は言葉やイメージとともに考えます。しかし、言葉やイメージを生み出す生成 AI が人間の知性に似た働きをするようになりました。これは歴史的に全く新しい事態です。AI は人間にとって単なる道具なののでしょうか？それとも、それを超える「何か」なののでしょうか？この講義では、道具を超えた「何か」として AI について考える哲学の授業です。それによって哲学がどういうものか感触をつかみましょう。

講師
松井 信之 准教授

専門分野
哲学、国際関係学、メディア研究

現在の研究テーマ
日本哲学史、環境に埋め込まれた知性に関する理論研究、AI
によるグローバルな政治経済システムの変容に関する理論研究

担当科目
メディア文化史、メディア社会学

出講可能日
ご相談に応じて

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン

22 プログラミングとアニメーション

生成 AI の登場で、人間がプログラムコードを打つことはなくなるかもしれません。しかし、プログラミング的思考は生成 AI を使うときにも大切なので、プログラミングを学ぶことには意味があります。この講義では、プログラミングを使って丸や四角を動かして、綺麗なアニメーションをつくります。車を持っていても「走ること」を楽しむ人たちがいるように、生成 AI の時代になっても「コーディング」を楽しみましょう。

講師
尾関 基行 准教授

専門分野
教育工学、ヒューマンインタラクション

現在の研究テーマ
プログラミング等の演習系課題における生成 AI 活用の研究

担当科目
プログラミング A・B、WEB 技術演習

出講可能日
月曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、イヤホン（各自）、
下記サイトにアクセス可能な PC（1～2 人に 1 台）
<https://editor.p5js.org/>